

●今月の「バックアップ」情報●

職場の省エネ最新事情 ～③エネマネってなに？(当社が診断機関に採択)～

ミカド電装商事株式会社が診断機関として採択されました

今年（2016年／平成28年）の4月、当社（ミカド電装商事株式会社）が環境省

CO₂削減
ポテンシャル診断

の「平成28年度CO₂削減ポテンシャル診断推進事業」の診断機関として採択されました。環境省では、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる事業者への支援の一環としてCO₂削減ポテンシャル診断事業を平成22年度から行っています。これは、年間CO₂排出量が50t以上3,000t未満の受診を希望する事業所（工場及び事業場等）に、診断機関から人を派遣し、設備の導入状況、運用状況、エネルギー消費状況を踏まえ、その事業所に合った具体的なCO₂削減対策をご提案するものです。



当社診断事業担当
執行役員工務部長
上席エネルギーコンサルタント
表 伸也(おもてしんや)

平成28年度に採択された診断機関は全国で92団体ですが、東北は5団体と数が少なく、その中に当社が採択されました。当社以外の東北の診断機関は、特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク（八戸市）、東北エネルギーサービス株式会社（仙台市）、テス・エンジニアリング株式会社（仙台市）、株式会社富士通ファシリティーズ・エンジニアリング（会津若松市）です。

向が強まっています。そしてICT技術（情報通信技術）を取り入れてエネルギー収支の「見える化」を一元化し、目標と計画を立てながらPDCAを推進させていく場合もあります。「見える化」がピンと来ないという方も、官公庁の入り口などにある太陽光発電量のパネルなどはご覧になったことがあるのではないのでしょうか。あの数量表示の対象を所内全体の機器装置にまで広げ、一か所でエネルギー収支を管理する、たとえば、わかりやすいかもしれません。

エネルギーマネジメント（エネマネ）とは？

こういったエネルギーの体系的な管理をする仕組みのことを、エネルギーマネジメントシステムと言います。省略してエネマネと呼ばれることもあります。狭義のエネルギーマネジメントシステムはISO/DIS 50001として国際規格化されたエネルギー管理体系を指しますが、そこまで厳密にとらえずに、「エネルギーの流れを全体でとらえよう」という意味合いで使われることが多いのではないかと思います。さて、CO₂削減ポテンシャル診断推進事業は、CO₂削減対策の前工程になる「診断」を推進する事業ですが、それがどう活用されて

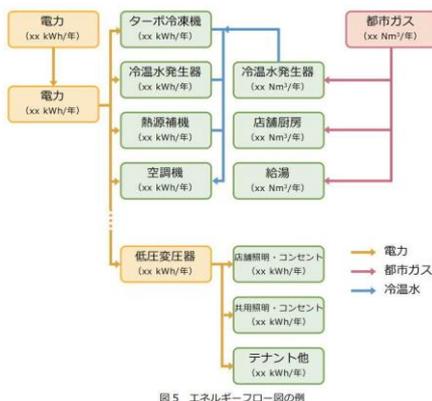
CO₂削減対策の実施状況 —診断受診後の傾向—

提案後の実施率が高いメニュー		
業務部門	【設備導入】 ・インバータ安定器への更新 ・高効率熱源機器への更新 ・LED照明の導入	
	【運用改善】 ・空調・換気運転時間の短縮 ・ボイラなど燃焼設備の空気比の調整 ・冷温水出口温度の調整	
	産業部門	【設備導入】 ・蒸気配管の保温強化 ・高効率照明（Hf型、HIDランプ）の導入 ・LED照明の導入
		【運用改善】 ・空気漏れの対策 ・コンプレッサの運用改善（台数制御装置のパラメータ設定変更） ・工業炉の空気比改善
<small>※平成22～26年度にCO₂削減ポテンシャル診断を受診した事業所を対象に、平成27年度に実施したアンケート結果より</small>		

いるのかも気になる。環境省の資料によると、対策実施状況は左の図のようになっています。（平成28年3月の資料）

当社では、今回の診断機関としての採択を受けて、長年の技術と取り組みが多くの皆様のお役に立てるよう、社員一同、気持ちを引き締め、心を

新たにしているところです。診断事業は5月末で締め切られましたが、エネルギーマネジメントは継続的な課題であるため、来年度の事業に期待したいところです。



前回の記事でも触れたとおり、近年の省エネは、事業所内の特定の箇所や設備に対して単独でバラバラに行うのではなく、専門家の意見を取り入れながら、CO₂排出量や電力などを総括的に見直し対策を講じる傾

※図版の出典：「CO₂削減ポテンシャル診断ガイドライン（環境省）」「平成27年度経済性を重視したCO₂削減対策支援事業に係るCO₂削減対策分析等委託業務フォローアップ調査事例集（平成28年3月）（環境省 地球環境局）」

今月の雑学

歴史を感じる香り「樟脳」



衣替えの最中、思い出の服に小さい穴を見つけるとがっかりしますよね。犯人はヒメマルカツオブシムシなどの幼虫ですが、その対策として昔から使われてきたのが樟脳です。「樟」は「クスノキ」。独特の香りを持つクスノキは虫害や腐敗に強く、古来、仏像や船の材料として重宝されていたそうです。その葉や枝などを水蒸気蒸留し結晶化させたのが樟脳で、

血行促進や鎮痛などの作用もあり、かつては強心剤としても使われていました。「カンフル剤」の「カンフル」はオランダ語で樟脳を指します。

樟脳は江戸時代には金・銀に次ぐ輸出品で国益に大きく貢献し、植民地だった台湾でのプランテーション経営により世界一の生産国となった時代もありました。その後化学の発達により合成樟脳が増え、また防虫剤もナフタレンやパラジクロロベンゼン製剤、それらよりも刺激臭のないピレスロイド系のものが多く売られるようになっていきます。国内の天然樟脳生産者は現在かなり少ないようですが、風に当てれば衣類に残ることもないという優しい香りは歴史や懐かしさを感じさせてくれるかも。最近ではリフレッシュ効果のあるアロマオイルとしても注目されているそうです。

ちなみに樟脳の伝統商品「藤澤樟脳」のイラストは邪気を払うといわれている鐘馗（しょうぎ）様。5月人形や武者絵でもお馴染みですがこちらにも歴史を感じさせますね。

社員紹介



4月から「社員紹介シリーズ」がまた新たに始まりました。2年ぶりに登場する弊社スタッフの現在の近況や趣味などをご紹介します。

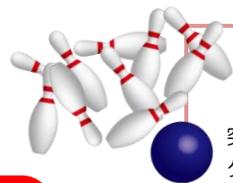
菅家皓平さん②

音楽が趣味で、エレキベースをやっています。以前もお話しましたが、宮城高専（現：仙台高専名取キャンパス）出身で、在学中からバンドでベースを担当していました。現在のジャンルはブルースやソウルミュージック。2つのバンドに参加していてそれぞれ月に一、二度はスタジオに集まって演奏しています。

たまにライブもしています。バンドではブルースやソウルをやることが多いです。就職してからはなかなか練習する時間がなかったり、みんなと集まったりすることもなかなかできなかったりするのですが時間を見つけたときにたまに活動しています。

プロのバンドからスタジオミュージシャンまで含めたベーシストマニアでもありますが、なかなかその話と一緒に盛り上げられる人がいないのが悩みです（笑）

編集部より



突然ですが6月22日はボウリングの日です。皆さんは、ボウリングには行けますか？手書きでスコアをつけていた時代もありましたが、今では自動で計算してくれますよね。

ボウリングってけっこうな運動量があるってご存知でしたか？ボウリング3ゲームがマラソン（3Km）7分半、サッカー18分、テニス20分、ゴルフ（2ホール）33分！これから梅雨時期なかなか外で運動できない時は気軽にボウリングで汗を流してみてもいいかもしれません。

（佐々木 佳奈）

☆ミカドのワンポイント解説

Pick Up!
GSユアサにゅ〜す

大山観光電鉄の新型車両にリチウムイオン電池システムを納入 ～景観重視型架線レススケールカーに貢献～

老朽化した設備を一新するため休業していた、大山ケーブル（神奈川県丹沢大山国定公園内）の営業が昨年（2015）10月に再開されました。新システムでは景観重視型の車両に切り替え、GSユアサ社製のリチウムイオン電池システムを導入して架線レスを実現しました。これまでの車両では、照明や放送装置など車内で使用される電力は架線より供給されていましたが、新型車両ではGSユアサのリチウムイオン電池がその電力を供給します。車両に搭載されたリチウムイオン電池への充電は、ケーブルカーが停車中に各駅に設けられた架線から行います。これにより、架線の撤去が可能となり、景観の向上が大変好評を得ています。



大山ケーブルの新型車両（wikipediaより）

ミカド電装商事株式会社

TEL.022-256-8191 FAX.022-291-5403

〒984-0051 仙台市若林区新寺3丁目4-30

・ミカド電装 HP <http://www.mikado-d.co.jp/>

・大型リチウムイオン電池専用 HP <http://www.mikado-d.co.jp/cp/>

ご覧の内容をメールでも配信しています。ご希望の方は

【ミカド電装 メルマガ】
でご検索ください。



編集：沢田元一郎・佐々木佳奈・笹崎久美子・小幡友里恵

※この配信サービスは無料です。毎月1回の定期配信に加え、ミカド電装商事からのお知らせを不定期に配信する場合がありますので、あらかじめご了承ください。本レターの第三者への転送、Webサイトなどへの再掲載はお断りいたします。また「バックアップ」の著作権は、ミカド電装商事様およびその情報提供者に帰属するため、掲載記事を許可なく転載することは禁じます。